



# 高田 本山 だより

発行所  
真宗高田派宗務院内  
三重県津市一身田町2819  
電話 059-232-4171  
FAX 059-232-1414  
HP www.senjuji.or.jp



発行部数 34,000部

## 福井別院略記

輪番 土屋宗堯

福井別院の歴史は古くて、伝えられるところによると江戸時代の中頃には、福井市の仙福寺に出張所としてあったという。その後、橋南の地、現在のJ.Rの鉄橋近くに別院を建立し、仏事業務を行ってきた。

しかし、足羽川の改修工事が行われたため、現在の裁判所と福井新聞社（旧）の建っている土地に移転することになった。その建物は、福井市下野に建てていた恵光寺（元三門徒派）の本堂で、大きく立派なものであったといわれる。それ以来、長らく多くの人々に親しまれてきたが、太平洋戦争で福井市も昭和二十年七月十九日に空襲をうけ、殆どが焼土と化し、別院もその時焼失してしまった。そのうち仮の本堂も建てられたが、昭和二十三年六月二十八日の福

井地震で再び倒壊焼失してしまった。

その後、都市計画によって、宝永町の神明神社横の地に移転新築され、二度も大災害をうけた別院も、ようやく立ち直ることになった。

しかし、昭和五十年頃からは、老朽化が目立ちはじめ、また自動車の普及に伴い駐車場も不足し、新築再建の要望が高まっていった。そのうち移転先も見つかり、尊い浄財も多く集まることになった。

ここに再建の声が上がって以来、十有余年にして待望の伽藍が完成し、昭和六十三年五月二十九日、法主猊下御親修の下、落慶法会が盛大に厳修され、現在その偉容を花堂の地に示している。

福井県福井市  
花堂南二丁目十一三五  
☎〇七七六一三五―二二九九



〈第2世真佛上人〉 〈第3世顕智上人〉

第2世 真佛上人750年忌 第3世 顕智上人700年忌

## 大 恩 会

本寺専修寺 平成20年3月28日～30日  
高田本山専修寺 平成20年4月18日～20日

4面、5面に特集



唐門からもんから境内へ入ってすぐ右側、松の樹の間に、赤レンガをむきだしのまま積み上げ、それをセメントで接着しただけの建造物

が立っています。平面は四角形で、正面は百七五cm、奥行九七cm、内部は二室に分かれ、各々の天井は蒲鉾形になっているのが特

これはいったいなんだらう  
文化財候補にもなった奇妙な施設  
宝物館主幹 平松令三

微的です。参拝の人たちから「これは何ですか」と尋ねられたことがあります。宗務院の古参職員に尋ねてみましたが、「僕もよく知りませんが、何か焼き物をした窯ではないでしょうか」と言う答えがかえってきました。赤レンガの状況を見ますと、たしかにそんな感じがしなくてもありません。今は屑物や古瓦などが放り込んでありますが、それを取り除いてみると床に大きな壺が埋めこんであって、汲み取り式トイレになっています。私の子供のころは、境内に四箇所、境外の寺町通りにも二箇所、これがあって、そこを通るといつも糞尿の臭いをプンプンさせていました。先ほどの職員にそれを告げると、「こんな男子専用のトイレしかなかったのですか」と言います。実はこれは男女兼用だったのです。「当時の女性は着物と下着の裾をつまみあげて、器用に用をたしていたのです。そのころの女性はズロース(パンツ)をはいていませんでしたから」というと彼は驚いていました。

このトイレはいつ作られたのか明確な記録はありませんが、恐らく明治四十五年親鸞聖人六百五十年遠忌おんきの際に、大勢の参詣者にそなえて、設置したのではなかったかと推測しています。

当時としては、これが新式だったのでしょう。明治文化に詳しい友人に尋ねると、「それは珍しい。全国にもこの他に残っていないのじゃあないか」とのことです。そこで市の文化財に指定してはどうか、という話題になったことがあります。しかしトイレではどんなものか、と見送られて今日にいたっています。

『本山だより』のこの欄も、私が随分長年担当させていただきましたが、話が落ちる所へ落ちたのを機会に、今回をもって終結させていただきます。ご愛読ありがとうございました。

## 今年の婦人連合大会は 6月1日(日)に開催されます



昨年まで婦人連合大会は、8月21日に三重県総合文化センターで開催されていましたが、今年は6月1日(日)十時半より本山御影堂にて開催されます。

### 京仏壇京仏具・ご本堂内装 お仏具ご修復・お納骨壇



高田本山御用達

京仏具

小堀

本店/京都市下京区烏丸通正面上る ☎(075)341-4121(代)  
東京店・練馬店・福岡店・札幌店・小堀京仏具工房

無料進呈! お役に立てて下さい

◆成功談と失敗談に学ぶ 新築・改築のノウハウ「100のヒント」

お申し込みはこちらから フリーダイヤル(本店) 0120-27-9595



しんらんしょうにん  
**親鸞聖人の  
 ご生涯**

シリーズ⑤

六角堂夢告

聖人十九歳の時、磯長の太子廟において太子の夢告を受けられた聖人は、更なる求道



京都市中京区にある六角堂

心をもつて比叡山での修行を続けられました。しかし、どれほど真剣に修行に打ち込んで、自分が悟りに近づいてゆく実感も、生死の迷いが晴れてくる気配もありませんでした。時に聖人二十九歳、十九歳の夢告で自分の命はあと十余歳と聞かされた聖人にとつてはもう後の無い状況であつたと思われれます。

自らのことをほとんど書き記されなかつた聖人の生涯は、謎に包まれていて、詳しく訪ねることとは難しいのですが、

ここで後に聖人の妻となり生涯を共にされた恵信尼のお手紙を訪ねてみますと

「山を出でて、六角堂に百日こもらせた給ひて、後世を祈らせ給ひけるに、九十五日のあか月、聖徳太子の文を

むすびて、示現にあづからせ給ひて候ひければ、やがてそのあか月、出でさせたまひて、後世のたすからんずる縁にあひまいらせんと、たずねまいらせて、法然上人にあひまいらせて、「恵信尼文書」と当時のことを聖人より直に聞き留められていらつしやいます。

それによると聖人は再び聖徳太子にこの行く末を尋ねるべく、京都烏丸の六角堂頂法寺（聖徳太子の建立と伝えられ、本尊は聖徳太子の本地（もと）の姿）である救世観音菩薩。当時より多くの太子信仰の尊崇を集めた）に百日間の参籠祈願を決心されます。

正に命懸けの求道であります。己のすべてを太子に委ね、繰る日も繰る日も、我が歩む道を求め祈り続けられたのであります。



六角堂境内にある親鸞聖人像

やがて聖人の人生の大きな転機となる出来事がやってきます。九十五日目の明け方、遂に聖人は聖徳太子の夢告を受けられます。その内容は多々説があり特定することはできませんが、それを機に聖人はきつぱりと比叡山と決別し、新たな道を歩まれることとなります。後世のたすからんずる縁にあひまいらせんと願うから、「ただ一向に念仏すべし」と念仏による救済を説いておられた法然上人の元へと向かうのでした。（教学院第三部会）

清掃奉仕  
 ありがとうございます

- 平成二十年
- 一月 井福寺
- 二月 西蓮寺 本覚寺

矢田了章・林智康編  
**歎異抄の  
 教学史的研究**  
 定価4200円税込

矢田了章編  
**『歎異抄』に問う**  
 —その思想と展開—  
 定価5000円税込

藤澤桂珠著  
**教行信証講讃**  
 第四巻信文類(本)  
 定価8925円税込

無名会同人編  
**仏と人 43**  
 救いということ(その五) 梯實圓／難信の法 高田慈昭／念仏法難八〇〇年 足利孝之／我聞如是(二) 源義春／ある日の明治天皇 南部松雄／茶話と茶話二題 森正隆 定価4100円税込

松塚豊茂著  
**光を聞く**  
 —人間・人間関係—  
 人間とは関係である 人間関係は苦しみのもとであるとともに喜びのもと 苦しみを喜びに転ずる—仏陀の光り—  
 定価1890円税込

**光を聞く**  
 —生・老・病・死—  
 定価2625円税込

600・8342 京都市下京区花屋町西洞院西入  
**永田文昌堂**  
 電話 00755・3371  
 FAX 0150・20511  
 振替 00755・3371  
 0755・3371

第2世 真佛上人750年忌 第3世 顕智上人700年忌

# 大恩会

本寺専修寺 平成20年3月28日～30日  
高田本山専修寺 平成20年4月18日～20日

重要文化財に指定された両上人の御影を、  
本寺よりお迎えして厳修いたします。

## 本寺専修寺

■三月二十八日(金)

午後一時

連夜勤行

御親修 法嗣殿

御親教 法嗣殿

復演 維那 清水谷博祇

復演後(午後二時頃)

記念講演 高田学苑副教頭

梅林久高先生

午後三時

内内陣参拝

■三月二十九日(土)

午前八時

晨朝勤行

■三月三十日(日)

午前八時

晨朝勤行

午前九時

内内陣参拝

午後一時

日中勤行

御親修 法主殿

御親教 法主殿

復演 宗務総長

青木真曉

午後二時三十分

尊徳太鼓

午後三時

お送り勤行

午後三時

内内陣参拝

## 尊徳太鼓

本寺の住所は、栃木県芳賀郡二宮町高田といえます。この「二宮町」の名は江戸時代の農政家二宮尊徳にちなんでつけられました。二宮尊徳は小学校の校庭、薪を背負って本を読んでいる銅像で有名な二宮金次郎さんです。  
尊徳太鼓は、二宮尊徳の報徳仕法を太鼓の強弱のリズムで表現するもので、二宮町の成人式や夏まつりなど幅広く活動されています。



## 本寺の御廟

本寺の如来堂横を抜けて、左に曲がると大きな墓地が続きます。その墓地の奥に親鸞聖人と歴代御上人のお墓(御廟)があります。

親鸞聖人のお墓と真仏上人のお墓との間を埋めるように、歴代の御法主のお墓を建てられたのではないかと、このころです。

親鸞聖人のお墓(写真中央)は突き当たりであって、大きさも形も違っており一目でわかりません。真仏上人と顕智上人のお墓は親鸞聖人のお墓をはさむように左右に並んでみると、長い間考えられていました。

しかし最近、親鸞聖人のお墓から一番遠く、入口に近いお墓が真仏上人と顕智上人のお墓だと考える説がでてきました。

最初に真仏上人のお墓が造られ、数年後、親鸞聖人が亡くなられて、御遺骨を持ち帰られた顕智上人が、真仏上人のお墓のさらに奥に御廟を建てられたのではないかと。後々、



## ご法事のご会食 ご予約承り中

～少人数から団体のお客まで是非ご利用ください～



お薦め商品(精進+和食ミックス)

### 本山会席

各種献立よりお選びいただけます。

◇精進料理 1人前 4,000円(税別) ◇本山会席 1人前 3,500円(税別)

お問い合わせ・ご注文は



人気商品 高田本山流 精進料理

※ご自宅までマイクロバスでご送迎(5名より14名様まで)

〒高田青少年会館 TEL.059-232-6079

世の中安穏なれ 仏法ひろまれ

社寺建造物彩色、障壁画、仏画、絵伝、頂相画、天井画などの制作と修復・復元承ります。その他石工、木地、漆、箔押、鋳金具など、ご相談下さい。

ものづくりの観点から、あらゆる職種の本物の職人による法物制作のお手伝いをします。

絵所

〒514-0114 三重県津市一身田町2819

TEL:059-232-4171 FAX:059-232-1414

(本山宗務院内 絵所)

絵所頭

安川如風



御本山絵所



高田本山

■四月十八日(金)

十二時三十分 御影堂

速夜勤行

御親教 法主殿

復演 鑑学

小妻道生

十二時三十分〜十五時三十分

宝物特別展 宝物館

国宝西方指南抄など

午後一時 雲幽園

安楽庵呈茶

午後二時 通天舞台

馬頭琴演奏

ウラムチ歌舞団

民族歌謡

■四月十九日(土)

七時 御影堂

晨朝勤行

説教 正念寺住職

梅林久高

九時三十分〜十五時三十分

宝物特別展 宝物館

国宝西方指南抄など

十時 寺内町

稚児行列

雲幽園

十時 安楽庵呈茶

十一時三十分 御影堂

日中兼速夜勤行

御親教 法主殿

復演 鑑学

稲垣舜岳

十三時 御影堂

特別講演 立松和平氏

十三時三十分

十二単体験

十四時 通天舞台

尊徳太鼓



十二単体験

■四月二十日(日)

七時 御影堂

晨朝勤行

説教 誓元寺衆徒

九時三十分〜十五時三十分

宝物特別展 宝物館

国宝西方指南抄など

十時 寺内町

稚児行列

雲幽園

十時 安楽庵呈茶

十一時三十分 御影堂

日中勤行

御親教 法主殿

復演 鑑学

小妻道生

十二時 御影堂

他派御門主来山

十三時 通天舞台

天理大学雅楽

十五時三十分 通天舞台

おんない念仏



天理大学雅楽

花まつり

四月二十日

お釈迦さまのご誕生をお祝いする、子どもたちの集まりです。

生まれたばかりのお釈迦さま像に甘茶をおかけ(灌仏)したり、仏青インターアクトクラブのお兄さんお姉さんとゲームをしたりします。今年は大恩会のお稚児さんと一緒に、白象に乗られたお釈迦さまをみんなまでひいて寺内町を回ります。参加は無料で、当日受付を行います。



高田本山写生大会

4月5日(土)10:00 ~15:00

どうぞご参加下さい。当日受付(無料)



ひとくち法話



高田本山御影堂

『ひとくち法話』冊子が増刷されました。進納所・青少年会館で販売しています。

緑と共に75年

三重県知事免許認可 (一級造園技能士) 造園・庭園管理

山本造園

代表 山本 進一郎

津市栗真小川町 869-77

TEL 232-7453

FAX 232-7453



高田本山御用達 三重県仏教会御推薦

石碑 碑籠 記念燈



高級御影石専門店

御影石材株式会社

(石に御用の方は) 0120-142540

本店 津市広明町(影見寺門前) 059-224-1700(代)

リレー法話

「大事なルール」

藤尾 邦泰

近所の交差点に、新たに信号機が設置されました。その交差点は交通量の多い片側二車線の大きな道路と、昔からの細い道が交わる場所です。人通りが多く付近には小学校、中学校、高校や専門学校もあります。

そこで頻繁に見かける光景があります。歩行者の信号無視です。何度か事故が起きたから信号機が設置されたにもかかわらずです。

それもランドセルを背負った小学生がちんと信号を待っている脇を、スーツを着た大人が。子どもの手を引いた母親が、「お母さん赤だよ。」と言われながら。.

大通りの信号が赤になっても、細い道からは減速に車は出てきません。歩行者用信号ももちろん赤ですが、大人の足なら五歩もあれば渡れてしまう横断歩道で、車の来ない赤信号を待つのは無駄というわけ

です。「安全確認をして自己責任

で渡っているのだ。」「ルールだからと馬鹿正直に信号が変わるのを待っているのは滑稽だ。」そんな声も聞こえてきそうです。

果たしてそれで良いのでしょうか？このことに対する答えをある書籍に見つけました。

スリランカ仏教の長老アルボムツレ・スマナサーラ師と僧侶で作家の玄侑宗久師の対談集『仏弟子の世間話』です。長老は次のようにおっしゃっています。「交通規則は人の命を守るためにできているものです。(中略)ですから交通規則ぐらいはそのまま守るべきだと思えます。それは口ポツトのような生き方ではなく、命を大事にすることです。」

命を大事にすることを基準に考える。これは交通規則だけでなく、様々なことを考え、判断するのに必要なことです。すべての物事がこのように判断されたならば、けんかや紛争、戦争や安全を無視したことによる悲しい事故など起こらないことでしょうか。

もう一つ長老の答えと同じくらい、大事な意見があります。恥ずかしい話ですが、かくいう私も、以前は信号無視をしていました。あることを友人に言われるまでは。

彼は渡ろうとする私を制止

て言いました。「子どもが見ているかもしれない。渡つてはいけない。」なるほどと思い、それ以来私は信号無視をしなくなりしました。

なぜなら、子どもが大人の信号無視する姿を見て、交通ルールをないがしろにするようになるかもしれない。これも一つの縁です。小さなことですが、これらが積み重なってもっと大事なことー命のことーが子どもに伝わらなくなるかもしれない。些細なことかもかもしれませんが、やはり信号無視はしてはいけないと気付きました。

交通規則という極々日常のことですが、こういったことを含めて私たちの生活は様々な事物とつながって、縁によって成り立っています。物質や経済だけでなく、多くの心や命がつながって成り立っています。微細なことまで影響しあっている不思議な世界です。

この「不思議なつながり」や「命を大事にすること」に気付かせて下さるのがお念仏ではないでしょうか。阿弥陀仏の御名がそれを教えて下さいます。「不可思議な光」、「量り知れない命」と称して教えて下さいます。

(神奈川県横浜市 甚行寺衆徒)

合掌

高田コーラス海からの行事案内

第四回「高田コーラスの一日」

五月十五日(木)

午前10時

午後三時十分まで

会場

高田青少年会館大ホール

参加者全員で仏教讃歌を歌う催しです。今年には「宮商和して自然なり」をテーマに、平田聖子氏の新曲「清風宝樹をふくときは」(親鸞聖人と讃より)のコーラスや、「恩徳讃」の手話による歌唱指導など例年通り、盛り沢山の、心癒される斉唱・合唱曲を歌います。どなた様も是非ご参加下さい。

参加希望者は左記までお問い合わせ下さい。

高田コーラス海

代表 隆 艶子

〇五九一三四五〇四七一九

副代表 高谷 豊

〇五九五一一二〇八九三



お墓

寺標

墓地移転

霊園開発造成

高田本山御用達 石匠位認定店 全国優良石材店、認定店

創業100余年

SHIEN STONES

株式会社 ストーンズ 石仙

(旧(有)山本石材店)

四日市市近鉄阿倉川駅前

☎0593-31-4114

サイコーイシ

高田本山御用達

井筒法衣店

京都市下京区堀川通新花屋町角(西本願寺前)

(〒600-8503)

電話 (075)351-1234(代)

フリーダイヤル ☎ 0120-075-720

フリーダイヤルFAX 0120-075-490

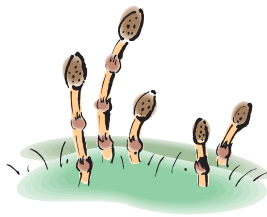


# ご和讃のお話

村上光照

大心海より化してこそ  
善導和尚とおわしけれ  
末代濁世のためにとて  
十方諸仏に証をこう

(善導大師一首)



(意訳)

大海のように深く広い阿彌陀仏の信心の世界から現れてくださった善導大師はこの末法の世、濁った時代の人々救う念仏の教えを明らかにするために十方の諸仏の証明を願うため求められた

善導大師(六一三〜六八一)が活躍された中国の隋・唐時代、

佛教界では「観無量寿経」が大変な関心を集め、歴史に名だたる多くの学者がこぞって注釈書を書きました。しかし念仏を称えることで悪人(凡夫)が浄土に往生できると説く部分の解釈が問題となりました。当時の学者たちは、身を削るような厳しい修行や、善行(善行だけが悪人(凡夫)が往生できる訳は無いと主張しました。

そしてこの「観無量寿経」の説く浄土とは程度の低い浄土(化土)であって、仏や菩薩の住む本当の浄土(報土)とは違う。また、釈尊は悪人(凡夫)に対し、本来念仏ぐらいで往生出来るはずはないのだが、仏法に縁を結ばせ導かんが為に方便として念仏をすすめたに過ぎず、その念仏をおして仏法に縁を結び、やがて修行によってこそ往生できるのであるという結論を出しました。

このような時代の中で、真つ向からそれを論破したのが善導大師でありました。それは、念仏を称えるから往生するのではなく、阿彌陀如来の大願業力により悪人(凡夫)でさえ往生できるといふ事です。万行諸善と呼ばれる困難な仏道修行しか念頭にない人々に対し、私のために阿彌陀如来の側で用意された行があることを明らかにし、念仏で往生することは如来の慈悲の手立てであると宣言されたのでした。

親鸞聖人は、この善導大師の偉業を文類偈の中で「善導独明佛正意」(善導大師はただ独り、これまでの誤った説を正して仏の教えを明らかにされた)と讃えられています。

このご和讃から親鸞聖人は、善導大師は浄土から現れた阿彌陀仏の化身であると見ていらつしやつたことがわかります。悪人(凡夫)までも独り残らず救おうとする阿彌陀如来の本願を信じるという絶対的な信心の重要性と、念仏の道を指し示して頂いたのです。(愛知県海部郡大治町 正覚寺衆徒)



者だけが浄土に往生が出来るという考えであったため、念仏を称えるという簡単な行だけで悪人(凡夫)が往生できる訳は無いと主張しました。

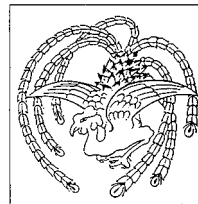
## 本山納骨堂

納骨壇に加入しませんか。  
くわしくは納骨堂事務所まで。  
電話〇五九―二三二―七二三四

御本山御用達

# 鍵長法衣仏具店

京都市下京区油小路正面東入(中央局区内)  
電話 (075)371-0854・8181~2番  
FAX (075)344-2701番  
振替口座・01070-3-972番 郵便番号600-8344



仏壇・仏具  
ぬし与

ホーオーが目印!

六代目 (株)ぬし与仏壇店

桑名本店・四日市店・鈴鹿店・蟹江店・大安店・阿下喜店

これからの本山諸法会

讚仏会

三月十七日～二十三日
春のお彼岸の法会です。
毎日、朝七時と昼十一時半
の二回、勤行とお説教が勤まり、
中日の二十日には法主殿の御
親教があります。

十万人講法会

四月六日～十日
本山の護持団体である十万人講が主催する法会です。
今年重要文化財に指定された、真佛・顕智両上人の御影のもとに勤まります。

千部法会

四月十二日～十七日
正式には講千部法会と言います。秋法会と同じく、進納所で講千部に加入いただいた方をご招待して勤まる法会です。今年重要文化財に指定された、真佛・顕智両上人の御影のもとに勤まります。

大恩会

四月十八日～二十日
賜春館で法主殿のご対顔をおおいだ後、御影堂にて参詣します。

前住上人御正當

四月十一日
高田派二十三世堯禪上人（一九〇五～一九九二）のご命日のお参りです。堯禪上人は、昭和九年に専精学舎を創設されるなど社会福祉に関心を寄せられました。
五月六日～八日
八日の晨朝後には御廟でのお参りもございます。

親鸞聖人降誕会

五月二十一日
宗祖親鸞聖人は、承安三年（一一七三年）の五月二十一日に日野の里に誕生されました。私たちに、お念仏の道を説いて下さった聖人のご誕生を祝い、法会が勤まります。

これからの本山諸行事

写生大会

四月五日
幼児から中学生までを対象に、本山境内の風景を写生します。参加費用は無料、当日受付で午前十時から午後三時まで行われます。どうぞご参加ください。

灌仏会

四月八日午前 時より
高田本山の山門の上には釈迦三尊佛がまつられています。急な階段を足下に気をつけながら上がると、中央にお釈迦さま、左右に象に乗られた普賢菩薩と獅子に乗られた文殊菩薩の姿があります。普段は施錠されていて入ることが出来ませんが、四月八日は、十時半より灌仏会のお参りをさせていただきます。その後、十時から十一時くらいまで、参詣のみなさんにも開放されます。一年一度のこのご縁にぜひご参拝ください。

はなまつり

四月二十日
（詳しくは五面に）
出来ませんが、四月八日は、十時半より灌仏会のお参りをさせていただきます。その後、十時から十一時くらいまで、参詣のみなさんにも開放されます。一年一度のこのご縁にぜひご参拝ください。
階段が急なため、動きやすい服装と、お釈迦さまにささげる一輪のお花を忘れなく。

興学布教研究大会

四月二十九日
高田派を代表して、真宗連合学会で研究発表をする人や、日頃布教活動をしている人が、高田派の僧侶や檀信徒を前に発表をする勉強会です。参加は無料で、当日受付を行います。

第四十四回 高田派婦人連合大会

六月一日
八年ぶりに御影堂で行われ

編集後記

御影堂の修理が完成して、八年ぶりに境内全部を使って、お七夜（御正忌報恩講）が行われました。
一身田商工会の人から聞いた話では、「二十年ぶりくらいの賑わいだった」とのことです。天気にも恵まれたこともあり、寺内町や境内には人があふれていました。
しかし御影堂に入ってみると、まだまだスペースに余裕があつて、今年も参拝者が少ないのではないかと勘違いしてしまっています。

さすがに重要文化財の中でも、国内屈指の規模をほこる建造物、約七百五十畳の広さをあらためて実感しました。
（栗）

寺院名

（この欄は寺院名を記載するスペースです。具体的な寺院名は本文に記述されています。）